

小金井市長期計画審議会

配付資料一覧

平成22年2月10日

	No.	資料名	備考
第1回 (6月12日)	1	小金井市長期計画審議会条例	資料1
	2	小金井市長期総合計画策定本部設置要綱	資料2
	3	小金井市市民参加条例(抜粋)及び同施行規則(抜粋)	資料3
	4	小金井市長期総合計画策定方針	資料4
	5	長期総合計画に係る討議要綱	資料5
	6	長期計画審議会のスケジュールについて	資料6
	7	小金井市長期総合計画(第3次小金井市基本構想・後期基本計画)	参考資料1
	8	同上 概要版	参考資料2
	9	平成20年度小金井市長期総合計画策定のための市民意向調査報告書	参考資料3
	10	同上 概要版	参考資料4
	11	こがねいデータブック2008(旧名:小金井市の現況'04)	参考資料5
	12	こがねい市民討議会2008実施報告書	参考資料6
	13	長期総合計画策定に係る「子ども懇談会」開催結果	参考資料7
	14	市勢要覧2008	参考資料8
	15	わたしの便利帳	参考資料9
	16	小金井市長期計画審議会委員名簿(第4次)	参考資料10
第2回 (7月15日)	17	基本構想の策定要領について(通知)	資料7
	18	多摩26市の基本構想の構成について	資料8
	19	市民の参加・協力による市内イベント一覧	資料9
	20	長期計画審議会における検討の流れについて	資料10
	21	市内視察予定表	参考資料11
	22	辞任願(写)	参考資料12
	23	長期計画審議会の「会長辞任」について	参考資料13
	24	会議録の調製について	参考資料14
	25	長期計画審議会 工程表	委員提出資料1 (三橋委員)

第3回 (8月3日)	26	多摩26市の基本構想の構成について	資料11
	27	市民意向調査における住み心地・定住志向に係る比較結果について	資料12
	28	踏まえるべき社会潮流について	資料13
	29	市民参加の全体像について	資料14
	30	長期計画審議会における検討の流れについて	資料15
	31	長期計画審議会工程表	資料16
	32	会議結果の作成について	参考資料15
	33	「討議要綱」についての質問	委員提出資料2 (鮎川委員)
	34	踏まえるべき社会潮流についての意見	委員提出資料3 (吉良委員)
	35	こがねいデータブック2008についての質問と意見	委員提出資料4 (吉良委員)
	36	討議要綱「踏まえるべき社会潮流」等についての意見	委員提出資料5 (鴨下委員)
	37	こがねいデータブック2008に関するコメント	委員提出資料6 (永田委員)
	38	「踏まえるべき社会潮流」等への意見について	委員提出資料7 (三橋委員)
	39	長期計画・討議要綱への意見	委員提出資料8 (五十嵐委員)
第4回 (8月31日)	40	第4次小金井市基本構想(素案)前半	資料17
	41	小金井市長期計画審議会(第3回)質問及び回答	資料18
	42	小金井ボランティア・市民活動団体パンフレット	参考資料16
	43	踏まえるべき社会潮流	委員提出資料9 (玉山委員)
	44	社会潮流(社会経済構造の変化)について	委員提出資料10 (三橋委員)
第5回 (9月17日)	45	第4次小金井市基本構想(素案)前半についての意見	事前配布資料 鮎川委員
	46	長期計画審議会・基本構想(素案)前半への意見	事前配布資料 五十嵐委員
	47	「長期計画審議会・基本構想(素案)前半」について	事前配布資料 鴨下委員
	48	こがねい市民討議会2009 実施報告書	当日配布資料
	49	小金井市長期計画起草委員会設置要綱	当日配布資料
	50	第4次基本構想(素案)前半の構成について	当日配布資料
	51	第4次小金井市基本構想(素案)前半	当日配布資料 淡路委員
	52	社会潮流(社会経済構造の変化)について	当日配布資料 三橋委員
	53	素案の骨格を考える上での各項目の要約(キーワード)	当日配布資料 三橋委員

第6回 (10月7日)	54	「協働」について	事前配布資料 渡辺委員
	55	小金井市協働推進基本指針	事前配布資料
	56	第4次小金井市基本構想(素案)後半(施策の大綱等)	事前配布資料
	57	第4次小金井市基本構想(素案)前半についての意見	当日配布資料 玉山委員
	58	市民懇談会の概要及び広報について	当日配布資料
	59	第3次基本構想・後期基本計画の主な事業及び評価について	当日配布資料
	60	第4次基本構想・前期基本計画の施策の体系	当日配布資料
	61	基本構想の目的と策定意義・役割	当日配布資料 淡路委員
	62	基本構想の枠組み	当日配布資料
第7回 (11月11日)	63	小金井市長期計画審議会意見	当日配付資料 三橋委員
	64	第4次小金井市基本構想(素案)後半についての意見	当日配付資料 今井委員
	65	第4次小金井市基本構想(素案)後半についての意見	当日配付資料 鴨下委員
	66	第4次基本構想(素案)第6章修正案(一部)	当日配付資料 淡路委員
	67	第4次小金井市基本構想(素案)修正案	当日配付資料
	68	基本構想の構成	当日配付資料 三橋委員
第8回 (12月3日)	69	第4次基本構想(素案)修正案に対する長期総合計画策定本部での意見について	事前配付資料
	70	第4次小金井市基本構想についての意見	事前配付資料 鮎川委員
	71	長計審への意見	事前配付資料 町田委員
	72	第4次小金井市基本構想(素案)修正案	事前配付資料 三橋委員
	73	第4次小金井市基本構想についての意見	事前配付資料 鮎川委員
	74	第4次小金井市基本構想(素案)修正案	当日配付資料
	75	施策の大綱・福祉と健康について	当日配付資料 玉山委員
	76	将来像修正案	当日配付資料 三橋委員
	77	行政経営と最適の訂正	当日配付資料 淡路委員
	78	市民懇談会の概要について	当日配付資料
第9回 (1月14日)	79	第4次基本構想(素案)に関する市民懇談会 質疑応答概要	当日配付資料
	80	第4次基本構想(素案)に関する市民懇談会 の意見集について	当日配付資料 三橋委員
	81	第4次基本構想(素案)中間報告に対する長期総合計画策定本部での意見について	当日配付資料
	82	第4次基本構想・前期基本計画(素案)	当日配布資料
	83	工程表	当日配布資料 三橋委員

第10回 (1月27日)	84	「環境と都市基盤」についての意見	当日配付資料 五十嵐委員
	85	基本計画各論に関する意見	当日配付資料 三橋委員
	86	前期基本計画についての質問・意見	当日配付資料 鮎川委員
	87	年次別財政計画（財政フレーム）の策定に当たって	当日配付資料
	88	市民フォーラムの概要について	当日配付資料
	89	市民懇談会における第4次基本構想（素案）中間報告に係る市民からの質問・意見の取扱いについて	当日配付資料
第11回 (2月10日)	90	前期基本計画第2部2章と3章への意見	事前配付資料 五十嵐委員
	91	第2章「ふれあいと活力のあるまち」【地域と経済】 1 コミュニティネットワークについての意見	事前配付資料 町田委員
	92	前期基本計画一章・三章への意見	当日配付資料 玉山委員
	93	基本計画各論（2章、3章）に関する意見と質問	当日配付資料 三橋委員
	94	前期基本計画についての質問・意見	当日配付資料 鮎川委員
	95	基本計画への意見	当日配付資料 玉山委員
	96	審議会11回（2月10日）についての意見・質問内容	当日配付資料 淡路委員
	97	市民フォーラム事前アンケート（案）	当日配付資料

平成 22 年 2 月 2 日

前期基本計画第 2 部 2 章と 3 章への意見

五十嵐 京子

第 2 章と 3 章に関して、審議会で発言した他に下記の意見を申し上げます。

記

- ① 主な取組の中の一番細かい項目で、同じような内容が重なっている印象がありますので、再検討をしたほうが良いと思います。
- P 39 (3) 災害救助体制の強化 の中の
 - ・ 1 項目「医療機関や東京都など、・・・」と、3 項目「災害時に診療や医療品の供給が・・・」と、5 項目「高齢者や障がいのある人、傷病者・・・」の内容が重なっているので、整理したほうが良いのでは。
 - P 48 (2) 経営安定・高度技術化の支援 の中の
 - ・ 3 項目「情報通信技術に関する・・・」と、6 項目「多様な情報発信手段を利用して、・・・」
 - ・ 5 項目「近隣市と連携し、・・・産・官・学の相互交流・・・」と、7 項目「農工大・多摩小金井・・・」は、「産・官・学連携」の構想のもとにある事業なのでまとめるか、あるいは項目を変えたとしたら、違いがわかる表現にしたほうが良いのでは。
 - P 50 (3) 農業経営の安定
 - ・ 1 項目「認定認証農業者・・・」と、2 項目「農業経営診断・・・」と、4 項目「有機・減農薬・・・」もまとめられるような気がします。
 - P 51 (1) ふれあい農業の育成 の中の
 - ・ 3 項目「農業祭や園芸教室・・・」と、4 項目「農業や特産物、・・・」もまとめられるような気がします。
 - P 59 (3) 歴史的文化の保全と継承 の中の
 - ・ 4 項目「市内に残る・・・」と、5 項目「市内を活動拠点とする・・・」もまとめられる気がします。

○ P 6 8 (2) スポーツ・レクリエーションの振興 の中の

- ・ 4項目「スポーツ・レクリエーションの施設の・・・」と、5項目「スポーツ・レクリエーションに関連する・・・」もまとめられると思います。

以上については、説明文を見ての感想ですので、内容が違うのであれば、違いがわかるような表現をしていただければ、と思います。

- ② P 4 2の一番下(2) 産業振興の仕組みづくりに関し、ここに農業も入れたらどうかと審議会でもうしあげましたところ、次ページの(3)に含まれているとの説明でしたが、その内容を読むと、やはり、(2)のほうに入れたほうが適切ではないかと思いますので、再度申し上げます。
- ③ P 5 9 主な事業 (仮称) 市民交流センターの活用 の表が、23年度「実施」、26年度「検証」、27年度「実施」となっています。
27年度の「実施」の意味がよくわからないので、表現の工夫を。
- ④ P 6 5 主な事業「図書館中央館の整備」と真ん中辺の(1) 新図書館中央館の検討の図書館の表現を統一したほうが良いかと思います。
- ⑤ P 7 4 一番下の行「・幼稚園児の保護者負担の軽減を図るため、・・・」ですが、引き続きの支援の継続と国や都への現行制度の働きかけというより、「国や都の動向を見ながら、継続的な保護者負担の軽減を図ります。」という表現はいかがですか？

第2章「ふれあいと活力のあるまち」【地域と経済】

1 コミュニティネットワークについての意見

2010.2.2

町田裕紀

1 協働についての考え方

市と市民（団体）との「協働」の具体的内容をどう考えるのか、つまり、共同事業の推進、職員派遣、補助金、施設提供、情報提供、後援等名義使用等、様々な協働の在り方が考えられる。

主な取り組み1「協働のまちづくりの推進」においては、様々な取り組みが記載されているが、いずれも協働の具体的内容に十分踏み込んでいるとは言えず、可能な限り、協働の具体的内容、あるいは、具体的内容を策定するプロセスについてまで記載できないか。

また、市の担当部署において、具体的内容を検討中のものがあれば、その内容をご説明いただきたい。たとえば、(3)協働の意識啓発と(4)協働の仕組みづくりについて、具体的な取り組みの内容をご説明いただきたい。

2 補助金制度の創出について

(1) 補助金制度について

市民及び市民団体等が公益性の高い事業を行う場合、事業費の一定割合を市が負担する制度を導入してはどうか。

(2) 目的

市民が公益性の高い事業を行う場合、ハードルとなるのが事業費の確保である。そこで、市民の公益活動を支援するため、その経済面での市のバックアップが望ましい。市民の主体的活動を尊重しながら、行政がその資金面でバックアップするのが望ましい。

以上

前期基本計画一章・三章への意見

玉山京子

1. ユニバーサルデザインと、バリアフリーの語句の整理について

- ① ユニバーサルデザインの語句の説明に、バリアフリーとの関連性を入れたほうがよい。
- ② バリアフリーという言葉が、第一章環境と都市基盤、4・市街地整備 P. 24
5・住宅・住環境 P25. 26. 31 にでてくる。ユニバーサルデザインとの関連性。統一するか否か。
- ③ それに従って、ユニバーサルデザインの語句の説明をどこに入れるか。

2. 第三章の文化と教育の 2. 人権・平和・男女共同参画について

- ① 人権・平和・男女共同参画について、学校教育としても取り入れる視点が必要だと思う。大人への啓発活動だけで十分だろうか。
- ② ワーク・ライフ・バランスについては、少子化問題との関連を、男女共同参画を損なわない形で、うまく取り込めないか。

3. 第三章の文化と教育 P. 73 の、聖霊幼稚園は、今年度 3 月末で閉園が決まっている。
ここに入れるのはどうか、もしくは、閉園について記載してはどうか。

以上

基本計画各論(2章、3章)に関する意見と質問

第2章 地域と経済

2. コミュニティネットワーク

→「協働によるまちづくり」を実現するうえで重要なセクションという観点での計画の策定が必要

P34 現況と課題

→地域ネットワークの必要性をより明確に記述して欲しい。

例) 市民ニーズが多様化するなか、地域社会の役割が増大し、地域社会による支え合いが暮らしやすさを支え、市民生活を豊かにしている一方、NPO や各市民団体間の相互の連携や情報の発信には課題もあり、地域社会への市民の参加も一部にとどまっています。

また、地域情報ネットワークに注釈を入れてほしい。

P35 成果指標①

「地域活動への参加率」の「地域活動」の定義が良く分からない

→意向調査では「町内会・自治会」「PTA・子ども会」など10程度に分類して市民の参加率を調査しているが、どれを指しているのかが良く分からないので、必要に応じて注釈を入れてほしい。

P35 成果指標②

成果指標として「公民館や児童館、市民協働支援センターの利用者数等」を追加してはどうか

P35 主な事業

- ・貫井北町地域センターを追記すべき。
- ・「市民協働支援センター」や「コミュニティ活動情報発信機能」について、より具体的なイメージがわく説明が欲しい。

P35、36 主な取り組み

- ・町内会や子ども会、カンガルーポケット等と市の連携はどこに記載されているのか？
- ・環境市民会議やごみゼロ化推進委員、PTA など他のセクションで書かれている内容については、コミュニティに入ってこないのか？
- ・協働の仕組み作りに関する「評価システム」とは何か？

2. 地域安全

P37 現況と課題

- ・国の話は市の話の後段でも良いのではないか。(第3次の「防災」では最後の扱いであった)
- ・耐震化対策についての記述はなぜないのか？→既に対策済み？であればその点を記述してはどうか？
- ・あいさつ運動に触れても良いのではないか。

P 38 成果指標

- ・空き巣の被害件数などが、指標に入っていないのはなぜか？
- ・住宅や建物の耐震化率の促進等はどうか？

P 38 主な事業

消防団詰所の耐震化だけでなく、耐震化というのであれば、もう少し市民全般に係る内容にして欲しい。

P38 主な取り組み

- ・危機管理体制の確立が最初に来るのはなぜか？
- ・地域防災計画に基づく防災対策の再構築とは具体的に何を指すのか？

3. 創造的産業

P41 現況と課題

- ・創造的産業を育成することが市民生活を豊かにすることにつながることを明確に表現してほしい。
- ・図で専門的技術的職業は将来的に増加していないが、説明内容と矛盾していないか？
- ・コミュニティビジネスの具体例をあげてほしい。

(P42 成果指標または主な事業に成功したベンチャー企業をつくり、広報まで含めた施策により、企業と市の双方のイメージアップにつながるような施策を含めてほしい。)

P42 主な取り組み

新産業振興プラン等に基づく産業振興の計画的推進とは何か？

4. 商業

P44 成果指標

観光に関する指標を入れてはどうか（→例えば小金井市に観光に来た人の数やイベント参加数、HPのアクセス数や観光協会への問い合わせ数など）

P45 主な取り組み

- ・新産業振興プラン等に基づく産業振興の計画的推進とは何か？
(P42と同じ表現で良いのか???)
- ・商業振興モデル地区に関する具体的な記述がない。

5. 工業

住環境との調和及び市民（および市外）の人への認知度のアップをベースにした成果指標や主な事業の策定をして欲しい。

8. 雇用

創造的産業の育成・誘致が着実に雇用に結びつくのでしょうか？
(3のセクションでは雇用の観点での記述はないが整合性は?)

第3章 文化と教育

1. 文化・芸術

→市民協働を成果指標や主な事業に入れることはできないか。

2. 人権・平和・男女共同参画

P64 男女平等推進センターの設置の検討→検討をつけるか？（防災センターはついていない）

3. 生涯学習

P64 図書館本館と新中央図書館の表現の違いの理由は？

P64 図書貸し出し数と、公民館利用率の目標値の根拠

P65 公共施設の充実→公共施設の充実と活用としてはどうか

4. スポーツ・レクリエーション

P67 現況と課題

- ・メタボが課題の冒頭か？
- ・東京国体による環境整備の期待とは具体的に何か？

P68 主な事業

- ・総合体育館の整備とは何か？（主な取り組みは総合体育館の大規模改修になっているがどんな機能の追加はあるのか。）

P68 主な取り組み

- ・ 1（1）市民が主体となる～支援します。とは、何をどのように支援するのか？
- ・総合型地域スポーツクラブとは何か？

5. 学校教育

- ・学校、家庭地域の連携に関する成果指標及び主な事業を入れてほしい。
- ・来年度から行われる可能性があると思う、土曜日の一部授業化についての記述は？
- ・平成22年度策定の「教育振興基本計画」とは？
- ・音楽室、図書館の開放が生涯学習のところにしているので整合性を取ってほしい。

6. 幼児教育

- ・保育の観点を含む保護者や子どものニーズに合わせた幼児教育の充実を
- ・幼小連携だけではなく、幼保の連携（一体化）の検討を。

以上

資料94

7 前期基本計画についての質問・意見

H22.2.8 鮎川志津子

福祉と健康

1. 高齢者福祉

「高齢者の生きがいづくり」や「高齢者の生活支援」に子どもたちの力を活用することも加えてはいかがでしょうか？

小金井市の学校でも、地域貢献や中学生ボランティアに積極的に取り組んでいます。地域の子ども会でも、社会福祉協議会や町会と連携し、「敬老の日」訪問や年賀状をお送りすることに取り組んでいます。

子どもたちが高齢者の方々から教えて頂くこと、子どもたちが高齢者の方々のお役に立てること、など、双方向の交流の推進も大切かと思えます。

8. 健康・医療

「現況と課題」に小金井市民の長寿について、データ、又は、記述を加えると、小金井市のアピールポイントになると思います。

以前、新聞などで小金井市民の長寿についての記事を読んだことがあります。ただ、最近の状況がわからず、情報・データなどがありましたら、ご教示下さい。

以上

平成 22 年 2 月 9 日

基本計画への意見

玉山京子

第 4 章 2. 子ども家庭福祉

●施策の体系・主な取り組み

「子どもの健全育成支援」とは、主に子どもが育つ環境整備に関して深く関わっている
ので、地域の子育て・子育て支援と混同してしまいます。ここは「子育て支援」に変更
すべきだと思います。

「総合的な子育て支援」は全てをカバーする大事な部分なので、この部分を中分類にあ
げて、4 つの中分類にしたらどうでしょう。

総合的な子育て支援

- (1) のびゆく子どもプラン小金井
- (2) ワーク・ライフ・バランスの推進

子育て支援

- (1) 子どもの権利が尊重される社会づくり・推進計画、行動計画の作成
- (2) 子どもの相談窓口子どもオンブズパーソンの実施
- (3) 子どもの体験の仲間づくりの・場づくり支援

子育て支援

地域の子育て・子育て支援の充実

- 主な事業の中に、冒険遊び場の整備、をいれるといいと思います。

Opinion

子どもの劣化 自由に遊ぶ環境の再構築を

仙田 満 せんた まつ
環境建築家・放送大学教授



戦後60年を経た現代日本の状況は、さまざまな意味において劣化という一言で示される。とりわけ次代を担う子どもたちの劣化ともいえるべき状況に注目しなければならない。今回、政権を取った民主党も「子ども手当」などの子育て支援策を打ち出しているが、手段のみを提示し、「わが国の子どもたちをどう育てていくか」という基本的なコンセプトに欠けている。

歴史を顧みても困難な時代はいつもとやって来る。それを乗り越える人材が国や地域から輩出できるかが問われるのだ。わが国は人材のみが資源といえる国である。にもかかわらず、未来を担う子どもたちに元気がない。子どもたちの劣化ともいえるべき状況は国の将来として全く危機的である。

わが国の子どもたちの身体能力が近年低下していたことは文部科学省などのデータでも明らかになっている。肥満体形や2型糖尿病、児童精神疾病が増えているほか、不登校もいまだ多い。何よりも意欲の低下は憂うべきである。神奈川県藤沢市教育委員会が、1965年から2005年まで5年ごとに行ってきた中学生の学習意識調査によると、この40年間で「もっと勉強をしたい」という学習意欲に燃えている子どもの割合は65%から25%へと、実に40

減少している。国連児童基金(ユニセフ)が07年に行った「子どもの幸福度」調査では、経済協力開発機構(OECD)加盟国の中で15歳の子どものうち「自分は孤独だ」と感じている割合は、他の多くの国がせいぜい5%内外であるのに対して、日本は約30%と突出している。

これら心身に関するデータは、日本の子どもたちがいかに困難な状況にあるかを示している。それらは家庭や学校の問題として語られがちだが、都市や地域における子どもたちの成育環境の質にも大きく関連していることに気づかねばならない。

筆者の調査によれば、日本の子どもたちはこの60年間で、自由で豊かなあそび環境を大幅に失ってきた。日本の子どもたちのおそび場は古くから道が中心だった。道によって空き地も原っぱも森も寺社の境内もつながっていた。しかし1960年代半ばを境に、道は自動車に奪われ、一気に子どもたちは多様なあそび空間を失っていった。そして、あそび時間を支配し始めたのがテレビである。80年代後半からテレビゲーム、近年ではパソコンや携帯電話などによって、子どもたちは外で群れてあそぶ時間を分断されてしまった。

日本の子どもたちはITメディアと接触する時間が長いと言われる。身近な野外のあそび場が失われ、子どもの多くは外であそぶおもしろさを体験することなく成長してしまっている。友だちも少ない。都市化が子ども

の成育環境全体に及び、虫捕りや魚釣りなど自然の中で多様なあそびを体験する機会も失っている。かつては子どもたちが育つ環境に多くの大人たちのやさしい目があった。江戸の町屋も平面的な集合住宅として、子どもたちはその中で多くの他の家族とともに育てられた。そもそも子どもは親だけでなく、多くの大人によって育てられるべきである。しかし、核家族化の進行によって、子どもを持つ家庭、特に母親たちは孤立化を深めている。

さらにいま日本では、子どもの成育や住コミュニティという視点で住宅建設がなされておらず、超高層住居ばかりである。売ればよいという商業主義がはびこり、眺望という大人の視点でしか環境価値が形成されていない。ヨーロッパの国々では子どもが成育する住宅の高さはほぼ4、5階に抑えられている。日本でも、10、30の家族が協力して集合住宅を設計・建築するコーポラティブハウスや、居住者が共通の食堂や居間を備えたコレクティブハウスのような住形式を、子どもの成育環境という視点から推進すべきである。

また子どもたちの身近な自然体験の場として学校、幼稚園、保育園の校庭や園庭を改善・整備すべきである。公園もただそこにフィールドとしてあるだけでは十分ではない。都市の街区公園の利用率はこの30年間で激減している。親は公園を子どもたちが犯罪者に出あう場所としてしか認識していない。公園にも見守る人が必要なのだ。

野外であそぶ方法は親も知らなくなっている。すべての公園を、東京都世田谷区の羽根木に始まった「プレーパーク」と呼ばれるあそび場に変えていく必要がある。プレーパークにはプレーリーダーが常駐し、様々な野外あそびを教えてくれる。それにより子どもは友だちを得、あそびの楽しさを味わい、信頼する大人を知ることが出来る。親も子どもたちも新しいコミュニティをそこで形成できる。

子どもたちは小さな頃から群れてあそび、自然のあそびを通して身体性、社会性、感性、創造性を身につけてきた。多くの科学者は子どもの頃の自然体験の中から科学への興味を育んだ。今、自由のびやかにあそぶことができる成育環境を失った子どもたちは、これらの能力を開発する機会を失っているといえる。

子どもたちのあそぶ声がうるさいからといって噴水が止められてしまような、子どもたちに対するやさしさのない国に将来はない。150年前、当時来日した外国人たちが「子どもの楽園だ」と高く評価したやさしい日本人はどこに行ってしまったのか。ユニセフが掲げる「子どもにやさしい都市」、そして「子どもにやさしい国」づくりを表現しなければならぬ。

幸せな子ども時代を過ごせる環境を再構築することが、いま日本の最大の環境問題であり、国家戦略として取り組むべき課題である。

◇ 41年生まれ。東京工業大卒業後、環境デザイン研究所設立。遊び場など子どもたちのための環境建築を多数手がけ、今年開場の広島市民球場も設計。元日本建築学会会長。現在、ことも環境学会会長、日本学術会議会員。

オピニオン

私の視点 × 3

審議会 11 回 (2 月 10 日) についての意見・質問内容 / 淡路提出

誤字などをご容赦下さい

1. 素案検討の前提として

重点プロジェクトはどのようにになりましたか。？

市民生活の観点から「総合行政」は、自治体の主要役割の一つです（地方自治体第 1 条の 2 第 1 項）。地域社会に影響を与える新規の事業、横断的、総合的に取り組むべき事業、事業の波及が広範囲になる大型事業などは重点プロジェクトとしての実施が、多面的な生活を営む市民からすると望ましいと思われま

す。また小金井市としての政策の特徴も明示できると思われま

すが、どのようにになりましたか。今後の取組方向をお聞かせください。

2. 計画の推進について

1. 市民参加・市民協働

主な取組

1. 市民ニーズの把握 この部分を「市民ニーズの把握と共有化」とし、記述内容にも実施して内外と共有することを明記する。

3. 市民参加の推進 4 つの項目を内容から二つに区分する（例 / 市民参加条例と制度展開）。

- 以下は細かいので起草委員会で質問します -

文章の訂正提案

市長への手紙、市長への E メール・ファクス、市民の声、各種相談などの（市民が意見を言いやすい：市民の状況に対応した）公聴活動を充実（志向）し、（幅広い）市民からの意見・要望を把握します。

文章の訂正提案

市政情報を迅速かつ的確に提供するため、市報をはじめとする各種広報媒体のより一層の充実を図るとともに、インターネットやケーブルテレビなどの（市民の受け入れ環境の変化に合わせた）電子媒体の活用を推進します。

2 . 行政経営

施策の方向性

行政サービスと市民サービスの違いは。？

施策の体系

体系図の人材と行政経営の順序が逆では、何か意図があるのか。？

人材は重要であるが、育成に時間がかかることから「中長期の人材育成ビジョン」で展開することが多い。今回の体系にはビジョンに触れている項目はないが、その意図は何か。？

主な取組

1.人材の育成・活用と組織の活性化

ここは、3項目が記載されているが、ほぼ能力開発と教育内容に絞っている。人材の育成には一般的に人事評価（考課）制度や各種処遇制度（配置、昇進、賃金）も関連するが、能力開発に限定した意図は何か、？

「職員の能力開発と意識改革を図るためも、派遣研修の他、職場研修やより高度な専門知識の修得など、市独自の研修を充実します」の部分について。

意識改革は管理職が率先して行うことが必要なことから、管理職向けのマネジメント研修の実施が必要では。？

2.活力ある機能的な組織

- ・機能的な組織のイメージがわきにくい、説明を
- ・「新たな行財政改革を推進し、社会潮流に即応できる財政システムを検討します」に関する内容説明と行財政システムとはどのようなものか。？
- ・活力の実現には庁内分権化や権限委譲が必要と思われるが。？

自律した行政運営の確立

- ここは質問が細くなることから起草委員会で質問します -

3 . 計画的行政

- ここは質問が細くなることから起草委員会で質問します -

4 . 財政・財務

施策の体系

税金の入（歳入）り出（歳出）が中心になっているが、保有している [資産の活用と整理] の項目が必要では。？

主な取組

1.安定した財政運営の確立

(1) 中長期的展望に立った財政運営の推進

ここには、財政目標の設定（経常収支比率、公債費比率～）、一般財源（市税・交付金）による財政運営、積立金など財政規律に関する方針明示といった内容は含まれるのか。？

3.歳出の訂正化

- ・ 予算制度の対する取組がないが。？
- ・ 外部団体に関する取組がないが。？

以上

第4次基本構想・前期基本計画（素案）に関する 平成22年2月24日
市民フォーラム事前アンケート（案）

今後の参考とさせていただくため、アンケートへのご協力をお願いします。
当てはまるものを、○で囲んでください。

あなた様ご自身について

Q1 あなたの住所

A：東町 B：梶野町 C：関野町 D：緑町 E：中町 F：前原町 G：本町 H：桜町
I：貫井北町 J：貫井南町 K：その他

Q2 あなたの性別

A：男性 B：女性

Q3 あなたの年齢

A：20歳未満 B：20～29歳 C：30～39歳 D：40～49歳 E：50～59歳
F：60～69歳 G：70歳以上

第3次基本構想・前期基本計画について

Q4 第3次基本構想・後期基本計画をご存知でしたか？

A：存在も内容も知っていた。 B：存在することは知っていたが、内容は知らなかった。
C：存在も内容も知らなかった。

Q5 第3次基本構想の将来像「元気で 萌えるみどりの 小金井市」をご存じでしたか？

A：存在も内容も知っていた。 B：存在することは知っていたが、内容は知らなかった。
C：存在も内容も知らなかった。

市民フォーラムについて（不参加の方のみ）

Q6 参加されない方にお聞きします。今回、参加されない理由はなんですか？

A：日程が合わなかったため B：会場が遠かったため C：内容に興味がなかったため
D：その他（ ）

長期計画審議会について

Q7 長期計画審議会の活動についてご存知でしたか？

A：傍聴したり、会議録や資料を読んだことがある。
B：ホームページ又は市報で記事を読んだことがある。
C：活動していることは知っている D：知らなかった。

Q8 長期計画審議会の活動についてご意見があればご記入ください。

第4次基本構想・前期基本計画（素案）について

Q9 今後10年間で重点的に進めるべき市政の重要政策は何ですか？3つまで丸を付けてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| A：みどりと環境衛生（ごみ問題） | B：駅周辺を中心としたまちづくり |
| C：バリアフリーのまちづくり | D：コミュニティの充実（市民の地域参加） |
| E：地域の安全性の向上（防災・防犯等） | F：地域経済の振興（買物等の利便性向上） |
| G：市民文化と生涯学習の推進 | H：学校教育の充実 |
| I：高齢者福祉及び障がい者福祉の充実 | J：子育て・子育て支援の充実 |
| K：市民の参加と協働の推進 | L：行財政の健全化・効率化 |
| M：その他（ | ） |

Q10 第4次基本構想（素案）では、将来像を「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」としていますが、どのように思われますか？ また、その理由は何ですか？

A：とてもよいと思う B：まあまあだと思う C：よくないと思う

（理由）

Q11 将来像を実現するために、次の4つの柱に沿って施策を進めることとしていますが、それぞれの項目について、特に進めるべき施策があればお書きください。

環境と都市基盤

地域と経済

文化と教育

福祉と健康

Q9 その他、ご意見・ご要望等がございましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。